

(1) 県全体の農作物の被害状況について

むらづくり課

- 令和4年度の野生鳥獣による農作物被害額は、**5億9,678万円**で前年度より**約5,900万円増加**(前年度比+11%)している。(図1、表1)
- 前年度と比べ、**カモ類の被害額は約8,200万円(-46%)大幅に減少**したものの、**他の鳥獣種では全て増加**している。中でも**イノシシによる被害額が約8,000万円(+40%)**、**シカによる被害額が約1,600万円(+32%)**、**ヒヨドリによる被害額が約1,600万円(+97%)増加**している。(図1、表1)
- 鳥獣種別の被害額は、イノシシが全体の約48%、次いでカモ類が約17%、シカが約11%を占めている。(図2)
- 作物別では、果樹の被害額が全体の約39%、野菜が約32%、前年度と比べ、**果樹の被害額が増加**している。(図3)

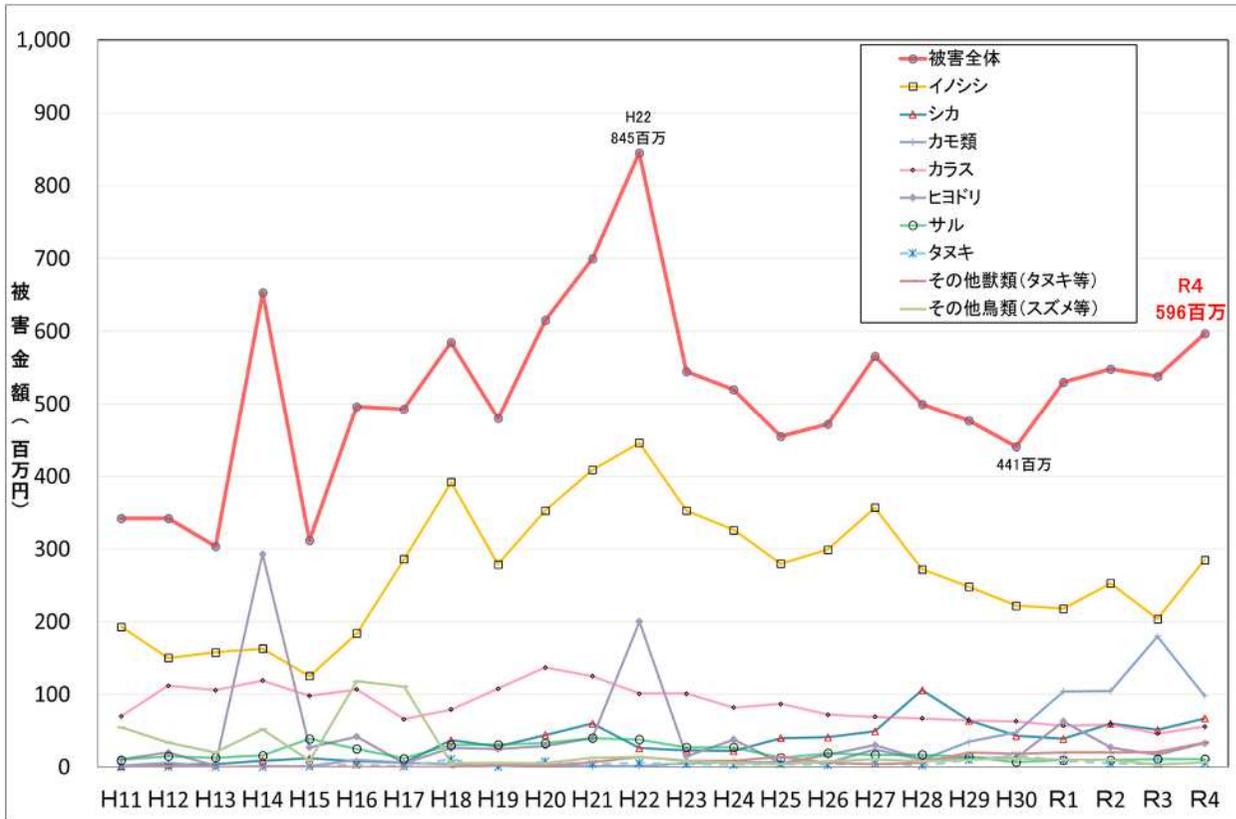


図1 被害額の推移

表1 令和4年度被害額

青文字：減少、赤文字：増加

鳥獣種	被害額	前年度からの増減額	
		前年度比	
全 体	5億9,678万円	111%	約 5千 9百万円増加
イノシシ	2億8,523万円	140%	約 8千万円 増加
カモ類	9,828万円	54%	約 8千 2百万円減少
シカ	6,729万円	132%	約 1千 6百万円増加
カラス	5,608万円	121%	約 9百万円増加
ヒヨドリ	3,341万円	197%	約 1千 6百万円増加
サル	1,064万円	101%	約 0.1百万円増加
その他獣類(タヌキ等)	3,924万円	157%	約 1千 4百万円増加
その他鳥類(スズメ等)	662万円	236%	約 3百万円増加

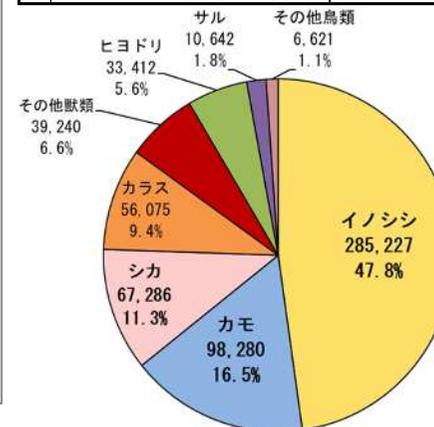


図2 鳥獣種別被害額(千円)

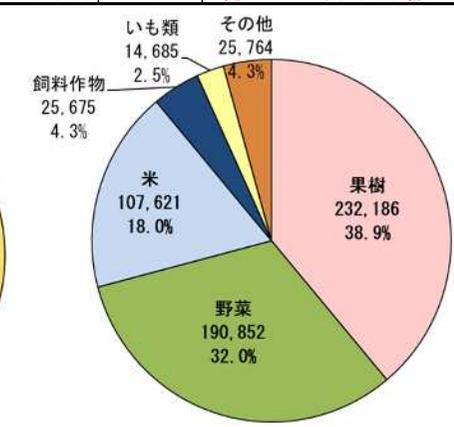


図3 作物別被害額(千円)

(2) 地域別の被害状況について

- ▶ 地域別では、八代地域の被害額が県全体の約16%を占め、次いで芦北地域が約13%、宇城、熊本、菊池、玉名地域が約10%を占めている。
- ▶ 被害額は前年度と比較して、八代・宇城・熊本・玉名地域の4地域で減少したものの、芦北・菊池・阿蘇・球磨・天草・上益城・鹿本地域の7地域で増加した。
- ▶ 八代・玉名地域ではカモ類の被害額が大幅に減少、芦北地域ではイノシシ、シカ、ヒヨドリの被害額が増加、菊池地域ではイノシシの被害額が大幅に増加した。また、熊本地域を除く10地域でイノシシの被害額が増加した。

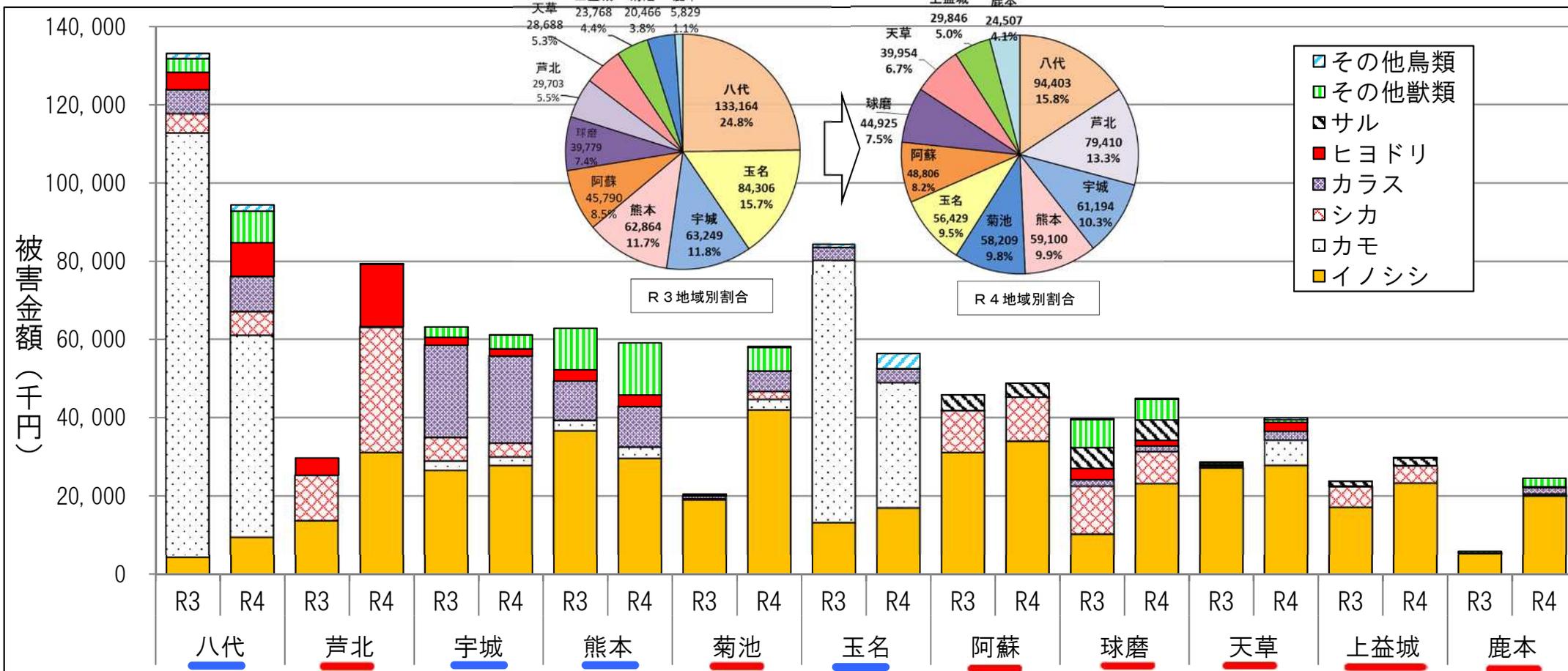


図4 地域別での被害額の推移(令和3年度→令和4年度)